

令和4年度入学試験問題(後期)

数 学

数学Ⅰ・数学Ⅱ・数学Ⅲ・数学A・数学B

【注意事項】

1. 試験開始の合図があるまで、この問題冊子を開いて見てはならない。
2. 本冊子には、**1**から**3**までの3問題が印刷されていて、合計2ページである。
落丁、乱丁、印刷の不鮮明な箇所等がある場合には申し出ること。
3. 解答用紙を別に配付している。解答は、問題と同じ番号の解答用紙に記入すること。なお、解答用紙の裏面に記入してはならない。解答用紙の裏面に記入した内容は採点されないので注意すること。
4. **1**から**3**までのすべてを解答すること。
5. 解答用紙の指定された欄に学部名および受験番号を記入すること。
6. 提出した解答用紙以外はすべて持ち帰ること。

1 曲線 $y = \tan x$ 上の点 $(t, \tan t)$ における接線が x 軸と交わる点を $(f(t), 0)$ とする。このとき、次の問いに答えよ。

- (1) $f(t)$ を t の式で表せ。
- (2) 自然数 n に対して、実数 a_n を

$$a_n = \frac{1}{n} \sum_{k=1}^n f\left(\frac{k\pi}{4n}\right)$$

で定めるとき、 $\lim_{n \rightarrow \infty} a_n$ を求めよ。

2 k を自然数とする。次の問いに答えよ。

- (1) 次の定積分を求めよ。

$$\int_0^1 \frac{x}{k(k+x)} dx$$

- (2) $0 \leq x \leq 1$ に対して

$$0 \leq \frac{x}{k(k+x)} \leq \frac{1}{k} - \frac{1}{k+1}$$

が成り立つことを示せ。

- (3) 2 以上の整数 n に対して、実数 a_n を

$$a_n = \frac{1 + \frac{1}{2} + \cdots + \frac{1}{n}}{\log n}$$

で定めるとき、 $\lim_{n \rightarrow \infty} a_n$ を求めよ。

3 互いに素な2つの自然数 p, q に対して $C(p, q)$ は中心 $\left(\frac{p}{q}, \frac{1}{2q^2}\right)$, 半径 $\frac{1}{2q^2}$ の円を表すとする。次の問いに答えよ。

(1) 互いに素な自然数の2つの組 (a, b) と (c, d) が次の条件を満たすとする。

$$\frac{a}{b} \neq \frac{c}{d}$$

このとき、2つの円 $C(a, b)$ と $C(c, d)$ は共有点をもたないか、または接することを証明せよ。

(2) 2つの円 $C(3, 5)$, $C(2, 3)$, および x 軸に接する円 $C(p, q)$ をすべて求めよ。